

柏ヶ谷小学校「ふくし教室の様子」(災害対策用ミニポーチ活用、シェイクアウト訓練など)

日時：6月16日(木)14時35分～15時25分

場所：海老名市立柏ヶ谷小学校、図書室

参加：柏ヶ谷小学校3年生3クラス、児童数76名、3年生担当の先生4名

出席：海老名災害ボランティアネットワーク(橋本、水本、三宅、福田)

海老名市社会福祉協議会(池田)

3年生の児童がクラスごとに図書室に入ってきて、クラスごとに並んで座りました。災ボラメンバーと先生が、子どもたちに「ふくし教室(災害対策用携行ミニポーチの活用)と書いたパンフレット(平成27年度に江間さんが作成したものの28年度版)や「もしもの時のために!」と書いた問題用紙(橋本代表作成)を配ります。ざわざわしていた子どもたちが静かになりました。担当の先生が簡単にきょうの課外授業の話をしします。

水本さん、ゆっくりとミニポーチの活用の話を始めます。子どもたちは、ポーチを開けます。ホイッスルの中に、自分の名前や連絡先などを記入するIDカードが入っているのに、初めて気がついたようです。「家に帰って、お父さん、お母さんと相談して書いてくださいね。知らない人には見せてはだめですよ。」とやさしい「おばさん」(水本さんの自称)の雰囲気です。

<柏ヶ谷小学校の図書室>



水本さんが、質問はありますか?と尋ねます。ほとんど、質問は出ませんでした。みんな分かったのかな?

次は、シェイクアウト訓練。「地震が起こったその時に、自分の命を守るための行動をとる練習です。皆さんの周りを見て、机とか大きくてしっかりしたところに入って、大切な頭を守ることに、低い姿勢をとることに、地震が収まるまでじっとしててください。今日は1分間です。」と説明します。福田が大きな声で、「地震だ！」と叫びます。子どもたちはあっという間に、机の下や椅子の下にもぐりこみます。どこにも入れずに、頭を抱えて、その場に座り込む子もいます。「揺れがおさまりました。もとに戻ってください。」子どもたちは、どの子も生き生きと行動しているように見えました。

最後は、橋本さんが「もしもの時のために」という用紙を出して話します。

「災害は突然やってきます。家で寝ている時、学校で勉強しているとき、登下校の途中、ひとりで留守番をしているとき、その他いろいろな場合が考えられます。」と説明します。子どもたちに質問します。「きょうは登下校中に地震が起きたら、あなたならどうしますか？まず何をしますか？どこへ逃げますか？」

何人かの子どもが手をあげました。

児童「わたしはランドセルで頭を守って、安全そうなところで身を低くします」

橋本「そこがブロック塀のそばだったら、倒壊の危険があるので、より安全な場所に移動してください。」

児童「わたしは、学校の体育館へ行きます」・・・その他「 」「 」

児童「もし歩道橋の上だったら、どうしたらよいのでしょうか？」

福田「歩道橋につかまっているか、すぐに歩道橋から降りるか。（地震の揺れの程度など、その場の状況で動きが違ってくる。）皆さん自身で、その場の状況を判断して、とっさに安全と思える行動をとってください。」

児童「地震や津波はどうして起こるのですか？」

橋本「図が書けるとわかりやすいのですが、地殻の変動で起こります。」

影の声（理科の時間で勉強してください。先生、よろしく！）

50分と短い時間でしたが、児童の生き生きと動く姿、手をあげて発言する姿を見て、災ボウの出席者も社協の方も、盛り上がりを感じたと語っていました。

柏ヶ谷小学校の先生から社協へ入ったメール（アンケートの回答）を紹介します。3年生担当教諭4名の連盟で記載されています。

| |
|--|
| <p>成果：避難ポーチの使い方と必要性、有効性が分かったようで、家で確認したり、使ってみよう話していました。3年生のみでなく、学校全体に伝えた方がいいと思いました。</p> <p>感想や改善点など：3年生なので1分間のシェイクアウト訓練は良かったです。体験・見学問うが大好きなので、ポーチの実演があれば、さらに良いなと思いました。</p> <p>忙しい中、ありがとうございました。</p> |
|--|



平成28年度「ふくし教室等」振り返りシート

現在実施している、ふくし教室等(福祉教育)の内容について、今後の参考にさせていただきますので、今年度に各学年で実施したふくし教室(出前福祉講座含む)について、実施終了後に担当教諭の方にご記入いただき、FAXにて2週間以内にご回答をお願いいたします。

□学校名 柏ヶ谷 小学校 □学年 3 年

□教諭名 小園、吉田、椋本、小田

□コース 災害対策

□内容について

①学校や児童にとっての成果を、ご記入ください。

避難ポーチの使い方と必要性、有効性がわかったようで、家で確認したり、使ってみようと言っていました。
3年生のみでなく、学校全体に伝えた方がいいと思いました。

②感想・気付いたところ・改善してほしい点などがあれば、ご記入ください。

3年生なので、1分間のシェイ訓練はよかったです。体験・見学等、大女子なので、ポーチの実演があればさらによいと思いました。

③今後、こんなプログラムを入れてほしい・実施してほしいなどの希望があれば、ご記入ください。

忙しい中、ありがとうございます。

このまま送信してください、送信表は不要です。

海老名市社会福祉協議会ボランティアセンター 池田

FAX046-232-9561

ふくし^{きょうしつ}教室

さいがいたいさくようけいこう ^{かつよう}
(災害対策用携行ミニポーチの活用)

へいせい ^{ねんど}
平成 28 年度



えびなさいがい
海老名災害ボランティアネットワーク

1 災害対策用携行ミニポーチの使い方

① 災害発生時に生き残っていること

- ◆ このミニポーチを持っているだけでは、災害が発生したとき、生き残れません。
- ◆ このミニポーチは、災害が発生したとき、生き延びるためのものなのです。
- ◆ 災害が発生したときは、生き残ってください。

② 常時、身につけていること

- ◆ 災害は、いつ起こるか、分かりません。
- ◆ ですから、常に、このミニポーチを、持っていてください。
- ◆ 家族の皆様と、外出するときも、持っていてください。

③ 知らない人には、見せないこと

- ◆ 中に、大事なものが入っていますので、知らない人には、決して見せません！。

2 ミニポーチの中に何が入っていますか

① 入っているもの

- ◆ ホイッスル (笛)
- ◆ サバイバルウォーター (飲料水)
- ◆ ポケットティッシュ
- ◆ 絆創膏 (救急絆創膏)
- ◆ 栄養補助食品 (カロリーメイト)
- ◆ 簡易トイレ
- ◆ 地震対策ガイドブック

3 ミニポーチに入っているものの使い方

① ホイッスル



◆ 写真の状態で、ミニポーチに入れておくものではありません。

ア まず、ホイッスルとヒモを取り出します。

イ ホイッスルを、ねじって、二つに分けます。

ウ ホイッスルの中から、IDカードを取り出します。

エ IDカードに記入し、ホイッスルに入れます。

オ ホイッスルをねじって一つにします。

カ ヒモを通して、首にかけます。

▼ 安全装置は、ついていますが、ふざけ、乱暴に遊ばないでください。

▼ 水につけないでください、IDカードが読めなくなります。

◆ IDカードの記入方法（記入例）

| + Personal ID CARD | | |
|---|---------------------------|---|
| (フリガナ) 氏名 エビナ タロウ Name 海老名 太郎 | 性別 Sex 男 | 生年月日 Birthday 平成16年9月9日生 |
| 〒 243-0431 住所 Address 海老名市上今泉1丁目100-100 | | 電話番号 Phone 046-232-9999 |
| (フリガナ) 緊急連絡先氏名： Emergency Contact Person エビナ タイチ 海老名 太一 | 自分との関係： Relationship 父 | 緊急連絡先電話番号 emergency Contact Phone 03-9999-9999 |

② サバイバルウォーター



- ◆ いんりようすい
飲料水です。
- ◆ ミネラルが、^{びりよう}微量に入っています。
- ◆ ほそんきげん ^{ねん}保存期限は、5年です。
 - ▼ ^{ねんせい}1年生で、もらえば、^{ねんせい}6年生まで持ちませ
ん。
 - ▼ ほそんきげんまえ ^{あた}保存期限前に、^{あた}新しいものと入れ替えてく
ださい。
- ◆ みず ^だ水の出し方に工夫がいらいます。
 - ▼ ^{ちい}小さい穴を開けると良いです。

③ ポケットティッシュ



- ◆ ティッシュペーパーの使い方は、^{つか}皆 ^{かた}様、ご存じでしょう。
- ◆ ^{はな}鼻をかんだり、^{くち}口を拭いたり、^{すこ}少し濡
らして傷 ^{きすぐち}口を拭いたり、トイシで使用し
たり……。
- ▼ ^{さいがいよう}災害用のトイシでは使用 ^{しょう}できます。

④ 絆創膏



- ◆ ^{きゆうきゆうばんそうこう}救急絆創膏の使
^{かた}いは、^{みなさま}皆 ^そ様、ご存じで
しょう。
- ◆ ^{ちい}小さな擦り傷 ^{きす}に使用 ^{しょう}し
ます。

⑤ えいようほじよしよくひん
栄養補助食品

- ◆ カロリーメイトです。
- ◆ ほぞんきげん ねん
保存期限は、3年です。
- ▼ ほぞんきげん き まえ あたら
保存期限が切れる前に、新しいもの
い か
と入れ替えてください。



⑥ かんい
簡易トイレ



- ◆ かい しょう
1回だけ使用できます。
- ◆ なか まい ふうろ
中に、2枚の袋、
こうぶんしきゆうすい
高分子吸水シート、
ゴムバンドが入っています。
- ◆ かてい ようしき また
家庭の洋式トイレ、又
は、ダンボール箱、パール缶
などのかんい しょう
簡易トイレで使用します。
- ◆ しょうほうほう ふうろ おぶつしよりふうろ かてい ようしき へんざ
使用方法は、Aの袋（汚物処理袋）を、家庭の洋式トイレの便座を
あげてから、なか い また はこ かん なか い
中にかぶせ入れる、又は、ダンボール箱やパール缶の中にかぶせ入
れます。
- ◆ ふうろ なか こうぶんしきゆうすい い よう た
Aの袋の中に、高分子吸水シートを入れ、用を足します。
- ◆ ふうろ ふうろ なか い
Aの袋をとじて、Bの袋の中に入れ、ゴムバンドでとじます。

洋式トイレ



ダンボール箱トイレ



パール缶トイレ



⑦ 地震対策ガイドブック

- ◆ 地震が起こったときの行動マニュアル、地震のゆれと被害想定、災害用伝言ダイヤル171、防災メモ、非常持出品チェックリスト、防災カード、で構成されています。
- ◆ 地震が起こったときの行動マニュアル、地震のゆれと被害想定、災害用伝言ダイヤル171は、読んでください。
- ◆ 防災メモは、記入例のように、家族で相談して記入してください。
 - ▼ 家族に何かあったときに、遠い親戚の方に援助を求められます。
- ◆ 非常持出品は、家族で何が良いか、相談して記入してください。
 - ▼ 皆様の家族は同じではありませんので、必要な持ち出し品が違ってきます。
 - ▼ 非常持ち出し品のリストを付けてありますので、選んでください。
- ◆ 防災カードは、コピーして、家族全員が記入して、持つのが好ましいです。
 - ▼ ホイッスルのIDカードに、防災カードと同じことを書き込んでおけば、ホイッスルを家族全員が持てば良いことになります。
- ◆ 別にとじたものを、見てください。

3 付け加えて欲しいもの

① 風呂敷、バンダナ、手ぬぐい など（もめん製）

- ◆ 物を包んだり、頭にかぶったり、口に巻いたり、ハンカチ代わりにしたり・

② 安全ピン

- ◆ サバイバルウオーターの穴開けに便利。小さく軽いです。
- ◆ 小さなチャック袋に入れますと、安全です。

③ ちい 小さなLEDのあ 明かり

◆ あいす しょう ふゆ くら はや 合図に使用、冬は暗くなるのが早いです。

④ ゴミ袋 ^{ふくろ}

◆ いろいろ おお いろいろな大きさのゴミ袋は、いろいろ へんか ばんのう 色々なものに変化して万能です。

4 さいがいじ い のこ いま 災害時に生き残るために、今、やるべきこと

① じょうほう え こくご べんきょう 情報を得るため………国語の勉強

② さいがいはつせいじょうけん し りか さんすう べんきょう 災害発生条件を知るため……理科と算数の勉強

③ むかし さいがい し しやかい れきし べんきょう 昔の災害を知るため……社会（歴史）の勉強

④ たいりよく きりよく つ たいそう 体力、気力を付けるため……体操をしっかりと

5 シェイクアウト ^{くんれん} 訓練

◆ きょうしつ ばあい 教室にいる場合

① かがんで、② つくえ した はい 机の下に入る、③ つくえ あし 机の脚をつかみます

◆ たいいくかん ばあい 体育館にいる場合

① かがんで、② ゆか ふ 床に伏せて、③ あたま ほご 頭を保護します

◆ そのまま1分間じ

っとしています

▼ ゆ おさ 揺れが収まるま

で、そのままじっとし

ていてください。



▼ ひがしにほんだいいんさい ゆ おさ ふんいじょう 東日本大震災のときは、揺れが収まるまで、3分以上かかりました。

◆ じしんはつせいじ い のこ くんれん 地震発生時に生き残るための一つの訓練です。